

共同大学院のカリキュラムと履修モデル 両大学に加え国際機関からも教員を招聘

保健看護学、医科学の2コース 基礎科目、専門科目、専門実習で構成

「災害・被ばく医療科学共同専攻」は、保健看護学コースと医科学コースの2つのコースから構成され、修了後はそれぞれ看護学修士、医科学修士を取得できます。

入学後のカリキュラムの流れは、下図のようになります。

履修する科目は、1年次は「災害・被ばく医療科学」を習得するに当たって不可欠な「基礎科目」と、それぞれのコースの専門性を高めるための「専門科目」です。2年次になると専門実習を行った後に課題研究で修士論文を作成し、修士号を取得します。

1年次の保健看護学コースと医科学コースの共通の基礎科目として、災害・被ばく医療科学の基盤となる基礎放射線医学、リスクコミュニケーション学、災害医学に関連する科目群を設けています。また、各コースの専門科目としては、保健看護学コースにおいては放射線看護学に関連する専門的知識を習得するための科目群を、医科学コースにおいては国際保健学や災害医学に関連する科目群を設けています。

2年次には、こうした座学に加えて、長崎大学、福島県立医科大学、長崎大学川内村復興推進拠点における専門実習を通じて、それまでに習得した専門知識を活用し、実践できる力を養うことを目指します。さらに、課題研究においては、そうした知識と実践力を基盤として、それぞれの大学の教員が個別に体系的な研究指導を行います。

人材育成のバックアップ体制 IAEA、ICRPなどからの教員も

これらの教育は、被ばく医療学・放射線リスク学で実績を持つ長崎大学、東日本大震災を経験し災害医療分野での実績と貴重な経験・教育フィールドを有する福島県立医科大学、それぞれで教育実績のある教員が担当します。

さらに災害・被ばく医療分野で中心的な役割を担う世界保健機関(WHO)、原子力の専門家集団である国際原子力機関(IAEA)、国際放射線防護委員会(ICRP)などからも、教員を招聘し、英語による教育を実施します。

また、共同大学院では、修了要件である34単位のうち、相手大学から10単位以上を履修することが必要になります。そこで、学生は本籍を置く大学での講義に加え、テレビ会議システムにより相手大学の講義も受講します。

なお、専門実習にかかる交通費や宿泊費は、学生の実費負担を原則としますが、実習時期を配慮し、大学の宿泊施設やゲストハウスなどを使用することにより、負担を軽減します。

履修科目は将来の進路により 一人ひとり異なる

共同大学院のカリキュラムは、基礎科目12単位のうち、必修科目が8単位、選択科目が4単位あります。また、専門科目12単位のうち、必修科目が4単位、選択必修科目が4単位、選択科目が4単位あります。

路を想定した履修科目の例を挙げます(図2)。

このように学生一人ひとりが自らの「出口」をイメージし、自分に必要なことを学べる教育体制になっているわけです。これらのカリキュラムを通して、修了生は災害・被ばく医療科学全般を見渡せる幅広い知識を持ち、危急時にその力を発揮できるプロフェッショナルとして活躍することが期待されています。



図1 カリキュラムマップ

赤：各大学それぞれで開設する科目 青：長崎大学開設科目 緑：福島県立医科大学開設科目 ※ () 内は単位数

修了要件 (34 単位以上)		医科学コース (修士 (医科学))	保健看護学コース (修士 (看護学))
1 年次	基礎科目 (12)	必修科目 (8)	基礎放射線医科学 (1) 基礎放射線医科学 (1) 救急医学概論 (1) 災害医学概論 (1) 災害看護学概論 (1) リスクコミュニケーション学 (1) 研究方法特論 (2) ※医学系非履修者は、自由科目として医学概論 (2) を履修する。
		選択科目 (4)	疫学 (2) リスクアセスメント概論 (2) メンタルヘルス概論 (2) 緊急被ばく医療概論 (2) 被ばく影響学 (2)
	専門科目 (12)	必修科目 (4)	放射線防護学 (2)
		選択必修科目 (4)	社会医学特論 (2) 放射線看護学 (2) リスク管理学特論 (2) 国際保健学特論 (2) 放射線ヘルスプロモーション看護学 (2) 災害起こるの医学 (2) 臨床放射線看護学 (2) 災害公衆衛生看護学 (2) 災害医学概論 (2)
	選択科目 (4)	シミュレーション医療教育学 (2) 国際保健学特論 (2) 放射線ヘルスプロモーション学 (2) 救急医学特論 (2) 看護教育論 (2) 看護理論 (2) 看護倫理 (2) 地域医療学 (2) 国際保健学特論 (2)	
	専門実習 (4)	選択必修科目 (4)	保健医療社会学特論 (2) 国際プロジェクト管理学 (2) 長崎大川内村実習 (2) 長崎大原爆被爆者医療実習 (2) 長崎大放射線看護学実習 (2) 福島大救急医学実習 (2) 福島大放射線災害医療実習 (2)
2 年次	課題研究 (6)	必修科目 (6)	課題研究 (6)

図2 想定履修モデルの例

■被ばく医療機関看護師の想定履修モデル

基礎科目 (12)	必修科目 (8)	基礎放射線医科学 (1) 基礎放射線医科学 (1) 災害医学概論 (1) リスクコミュニケーション学 (1) 救急医学概論 (1) 災害看護学概論 (1) 研究方法特論 (2)
	選択科目 (4)	緊急被ばく医療概論 (2) 被ばく影響学 (2)
専門科目 (12)	必修科目 (4)	放射線看護学 (2) 放射線防護学 (2)
	選択必修科目 (4)	放射線ヘルスプロモーション看護学 (2) 臨床放射線看護学 (2)
	選択科目 (4)	看護理論 (2) 看護倫理 (2)
専門実習 (4)	選択必修科目 (4)	長崎大川内村実習 (2) 福島大放射線災害医療実習 (2)
課題研究 (6)	必修科目 (6)	課題研究 (6)

赤：各大学それぞれで開設する科目 青：長崎大学開設科目 緑：福島県立医科大学開設科目 ※ () 内は単位数

■保健関係の行政職員の想定履修モデル

基礎科目 (12)	必修科目 (8)	基礎放射線医科学 (1) 基礎放射線医科学 (1) 災害医学概論 (1) リスクコミュニケーション学 (1) 救急医学概論 (1) 災害看護学概論 (1) 研究方法特論 (2)
	選択科目 (4)	被ばく影響学 (2) メンタルヘルス概論 (2)
専門科目 (12)	必修科目 (4)	放射線看護学 (2) 放射線防護学 (2)
	選択必修科目 (4)	災害医学特論 (2) 災害起こるの医学 (2)
	選択科目 (4)	地域医療学 (2) 災害地域ヘルスプロモーション学 (2)
専門実習 (4)	選択必修科目 (4)	長崎大川内村実習 (2) 福島大放射線災害医療実習 (2)
課題研究 (6)	必修科目 (6)	課題研究 (6)

赤：各大学それぞれで開設する科目 青：長崎大学開設科目 緑：福島県立医科大学開設科目 ※ () 内は単位数

お問い合わせ

入学を希望する各大学へお問い合わせください。

国立大学法人 長崎大学

長崎大学 医歯薬学総合研究科 学務課大学院係
〒852-8523 長崎市坂本1丁目12番4号
TEL 095-819-7009 (受付時間：平日午前9時～午後5時)
E-mail: dai_med@ml.nagasaki-u.ac.jp
http://www.nagasaki-u.ac.jp/

公立大学法人 福島県立医科大学

福島県立医科大学 教育研修支援課 医学部教務係
〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地
TEL 024-547-1095 (受付時間：平日午前9時～午後5時)
E-mail: gakuseik@fmu.ac.jp
http://www.fmu.ac.jp/

学生に応じた(日本語/英語)講義

修士審査